

# 暮らしのたより

6月 - 1 2 **3** **4** 5 6 7 8 9 **10** **11** 12 13 14 15

## 6月は 土砂災害防止月間です

☎ 河川課 内線 2462

～みんなで防ごう土砂災害～  
一瞬にして人の命や大切な財産を奪い去ってしまう土砂災害。土石流、地すべり、がけ崩れなど、土砂災害のほとんどは長雨や大雨がきっかけとなって起こります。また、阪神・淡路大震災のように地震でがけ崩れなどが起きる場合もあります。6月は雨が多い季節です。災害に対して十分備えておきましょう。

## 刺激空間！ 青年教養講座

☎ 青少年課 21-6129

♠ **エアロビクスII**  
とき 7月5日～9月20日 毎週水曜日 19:00～20:50  
定員 20人 (先着順)

♠ **着物着つけ (男性)**  
とき 7月7日～8月4日 毎週金曜日 19:00～20:50  
定員 15人 (先着順)

——— 各講座とも ———  
ところ 青少年センター (広見町)  
対象 市内在住・在勤の15歳～30歳の独身の人 (中学生・高校生は不可)  
受講料 1,000円 (保険料、利用者会費)  
申し込み 6月25日～30日に受講料を持参し、青少年センターへ

## いきいきリハビリの集い

☎ 高齢者福祉課 内線 2319

とき 7月15日(土) 10:00～15:30  
ところ ロゼシアター レセプションホール  
内容 講演:「老人医療へのとりくみ」  
講師:鎌田 實<sup>みのる</sup>さん (諏訪中央病院長)ほか  
受講料 無料  
定員 300人  
申し込み 6月30日までに電話で湖山病院へ ☎36-2000  
\*昼食希望者は予約してください

## 第28回 静岡県青年の船

☎ 青少年課 21-6129

とき 12月27日(水)～平成8年1月6日(土) 11日間  
渡航地 香港、浙江省、タイのいずれか1コース (高校生は香港のみ)  
対象 平成7年4月1日現在で16歳以上30歳以下の人 (高校2・3年生を含む)  
定員 400人 (高校生72人を含む)  
必要書類 参加申込書 (青少年課で配付)、写真3枚 (縦4.5×横3.5センチ)  
費用 香港 17万3,000円  
浙江省 24万3,000円  
タイ 25万8,000円  
申し込み 7月31日までに直接青少年センター (広見町) へ

## 教育委員会会議のお知らせ

とき 6月21日(水) 14:00～  
ところ 市役所8階政策会議室  
問い合わせ 教育委員会管理課 内線2738

## 赤十字家庭看護法講習会

☎ 社会福祉課 内線 2312

とき 7月12日(水)・13日(木)・19日(水)・20日(木) 9:30～15:30 計4回  
\*4日間参加できる人  
ところ 静岡県沼津赤十字血液センター  
受講料 300円 (資料代)  
定員 25人  
持ち物 筆記用具、エプロン (ズボン着用)  
申し込み 6月12日から電話で日本赤十字社静岡県支部へ ☎054-252-8131

## 16ミリ映写機 操作技術認定講習会

☎ 吉永北公民館 21-3559

初心者向けの16ミリ映写機の操作と実技講習会を開きます。  
とき 6月24日(土) 13:30～16:00  
ところ 須津公民館  
内容 映写機の構造、操作、実技  
対象 市内在住・在勤の18歳以上の人  
受講料 無料 定員 50人 (先着順)  
持ち物 筆記用具、写真2枚 (縦3×横2センチ、裏に氏名を記入)  
申し込み 6月12日～20日に電話で社会教育課 (内線2716) または、下記の公民館へ  
吉永公民館 ☎34-1014、吉永北公民館 ☎21-3559、東公民館 ☎38-0930、原田公民館 ☎52-0124、須津公民館 ☎34-0004、元吉原公民館 ☎33-0170  
\*講習を終了して16ミリ映写技術者認定証を取得すると、市所有のフィルムや映写機を無料で利用することができます

## わたしたちと環境展

とき 6月20日～30日  
ところ 市役所2階市民ホール  
問い合わせ 公害課 内線2072

## 我が家の地震対策 NO.2

阪神・淡路大震災を教訓に

# 自主防災会①

災害から自分を守り、財産を守るためには、日ごろからの備えが最も大切です。

しかし、大きな災害に遭ったときは、隣近所の助け合いが必要となります。

この助け合いの組織が自主防災会です。

## ふだんからの備え

自主防災会の活動を進めるには、各家庭の理解と協力が欠かせません。住民一人一人が防災会に参加し協力をしていくことが大切です。

防災会の中にどのような人がいるのか確認するために、世帯台帳などを整理したり、隣近所に小さな子供やお年寄り、寝たきりの人などがいないかを把握しておくことも必要です。

災害が起きたときに、危険となりそうな急斜面や狭い路地などを事前に調べ、避難路などを再点検しましょう。

防災用の機材を整備して、いざとい

うとき使えるように、点検や訓練をみんなで定期的に行うようにしておきましょう。

あなたも自主防災会員の一人です。

